令和８年度　第２回　学校運営協議会

日時　令和８年　９月１１日（金）
　　１４時３０分～１５時３０分
会場　浜松市立気田小学校　会議室

進行（教頭）

１　会長挨拶

２　校長挨拶

３　浜松市教育委員会より

４　議長の選出

５　前回会議録の確認

６　学校の現在の状況について
　保護者・地域の方々に協力していただいた活動

７　熟議　　進行（議長）
（１）授業参観や学校の取り組みから、学校・家庭・地域でできること

（２）浜松市教育委員会より

８　連絡　　進行（教頭）
（１）関係各所からのお知らせ

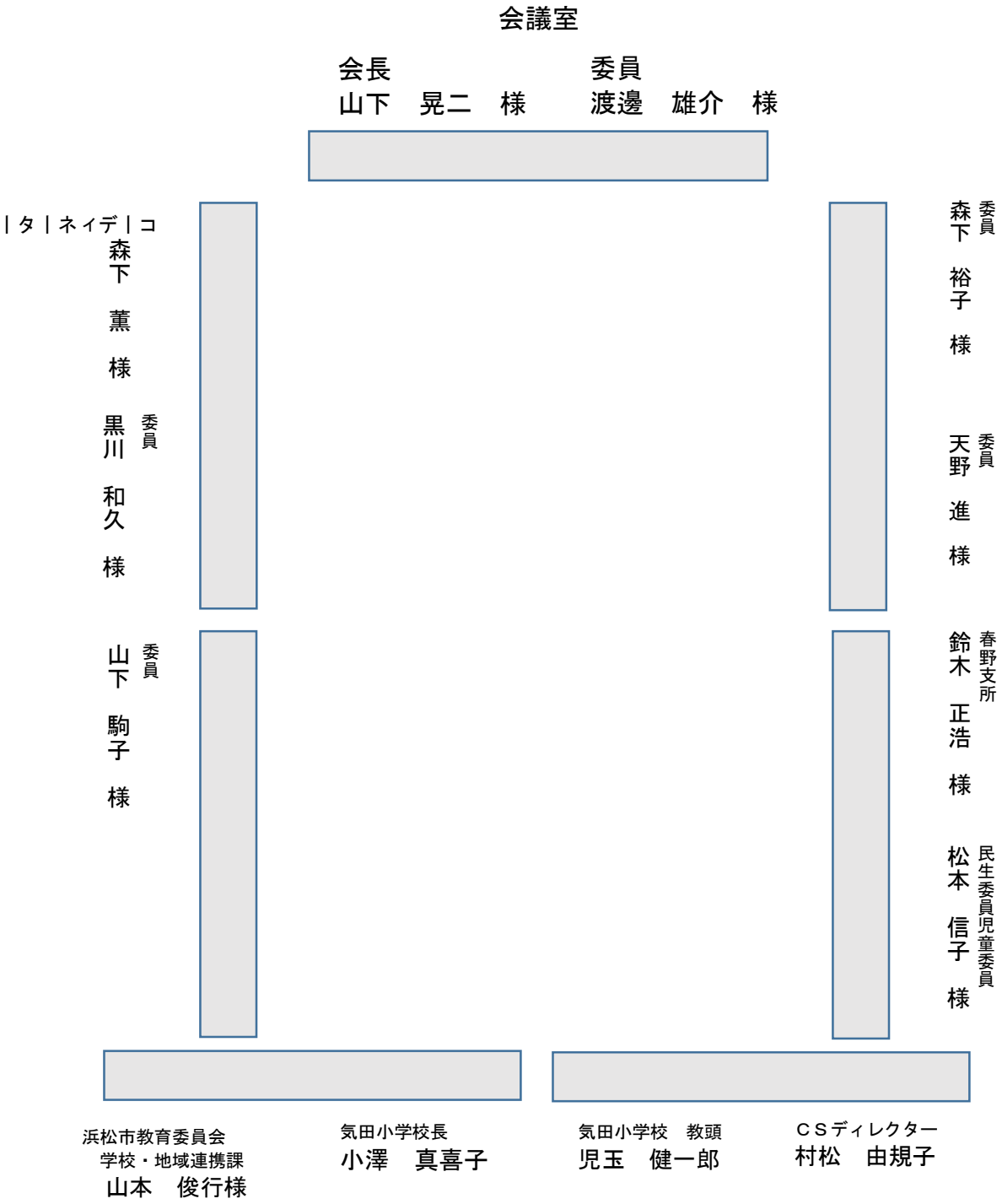
（２）今後の開催日程について（予定）
　　第３回　１１月３０日（月）午後２時３０分～午後３時３０分
　　第４回　　２月１９日（金）午後２時３０分～午後３時３０分

（３）その他

令和8年度学校運営協議会名簿

No	役職	氏名	出欠
1	会長	山下　晃二　様	
2	委員	渡邊　雄介　様	
3	委員	森下　裕子　様	
4	委員	天野　進　様	
5	委員	黒川　和久　様	
6	委員	山下　駒子　様	
7	委員 学校支援コーディネーター	森下　薫　様	
8	CSディレクター	村松　由規子	
9	CSアドバイザー 春野支所	鈴木　正浩　様	
10	CSアドバイザー 民生委員児童委員	松本　信子　様	
11	浜松市教育委員会 学校・地域連携課	山本　俊行　様	
12	校長	小澤　真喜子	
13	事務局 教頭	児玉　健一郎	

Ｒ８年度　学校運営協議会（気田小学校）会場図



令和8年度　第１回　気田小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開催日時　　令和8年4月22日（水）14：30から15：30まで
２　開催場所　　気田小学校1F 会議室
３　出席委員　　山下　晃二　渡邊　雄介　森下　裕子　天野　進　黒川　和久
　　山下 駒子　森下 薫
４　欠席委員　　なし
５　オブザーバー　船見　安宏（春野支所）
６　学校　　小澤真喜子（校長）　児玉健一郎（教頭）
７　傍聴者なし
８　会議録作成者　村松　由規子（CS ディレクター）
９　議長の選出　　司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、森下　薫様より山下晃二会長を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
10　協議事項
（1）　令和8年度学校運営の基本方針、学校いじめ防止対策の基本方針について
（2）　令和8年度総合的な学習の時間（麻舟タイム）の取り組みについて

11　会議記録
司会の児玉健一郎教頭から、委員の参加者が規定の数（7名中7名）に達しているため、会議が成立する旨の報告があった。
（1）　令和8年度学校運営の基本方針、学校いじめ防止対策の基本方針について
校長から令和8年度学校運営の基本方針、学校いじめ防止対策の基本方針について説明があった。説明を受けて、委員に意見を求めた。
● 気田小学校にいじめはあったのか。（黒川委員）
→ いじめは認知をしている。本人からの訴えがあったり、アンケートへの記載から把握したり、保護者からの連絡で把握したりしている。（校長）
● いじめは、解決しているのか。第3者から見ると、いじめかどうかは判断が難しいと思う。（定義に基づくと）本人がいじめだと感じたら、いじめなんですね。（黒川委員）
→ いじめに対しては、組織として職員で検討、対応をしたり、児童に話を聞いたりしていくことで解決をしていくことが多い。（校長）
● いじめの定義が変更されたことで、いじめは増えているのか。いじめの数の変遷はどのようになっているのか。（森下　裕子委員）
→ 一時的には増えた。早期発見のために、（困ったことがあったら）教員にすぐに話すとよいことを日頃から子供たちに伝えるとともに、対応が必要になったときは、「このようなときはどうすればよいのか。」を子供たち同士で考え、解決に向けていけるように支援する方法も取り入れている。何でも「先生、先生・・・。」と頼るのではなく、自分たちの力で乗り越えることを学ぶということで解決に至り少し減っている。
→ 例えば子供たちがじゃれ合いをしていたら、もしかしたらいじめではないかという

目で見てみる・・・。いじめの認知件数は増えるかもしれないが、アンテナを高くして子供たちの様子を観察していくことが大切だと思う。（教頭）

（2） 令和8年度総合的な学習の時間（麻舟タイム）の取り組みについて

＜学習課題＞

3･4年生：春野のステキを調べよう。春野の山幸を調べよう。

5･6年生：春野の産業を調べよう。春野の特産品を知らせよう。

各担当教員参加の下、2つのグループに分かれて、委員の方に上記の課題に基づいた情報提供をしていただいたり、意見をいただいたりして、今後の実践へとつなげるべく、話し合いをした。

参加教員：井熊　康、老川　友里

＜話し合いの内容（一部）＞

○ 春野ポーク（養豚場）の見学は、防疫が厳しいので子供たちの見学は難しいので、学校に講話に来てもらうとよい。また、ジビエを扱っている施設もあるので、希望があれば連絡をとることができる。（天野委員）

○ 閉校した田河内小学校は、校舎が残っている。見学の希望があれば連絡をとることができる。（森下　薫委員）

○ 春野自動車部品（森下　薫委員）や春野スプリングス（黒川委員）、アロマ（クロモジ、柚子、ヒノキ）を扱っている所（山下　駒子委員）もある。

○ 山の村では、マウンテンバイクができる。子供用の自転車もあり、子供たちが喜ぶかもしれない。（天野委員）

○ 岩岳山のツツジや天然記念物でもある京丸ぼたんは、子供たちにぜひ知ってもらいたいと思う。

○ 山の村から100mほど上った所には、見晴らしの良い広大な茶畑が広がっている。（山下　駒子委員）

○ 蕨採りができる所があるので、蕨採りの再開が期待できる。（森下　薫委員）

○ 道路工事があり、スクールバスの通行が可能か確認する必要がある。

→ゴールデンウイーク前には仮に通す予定があるが、確認をする。（渡邊委員）

→子供には、道路工事の事情についても知ってもらうことも大切だと思う。（井熊）

12　連絡事項

令和7年度学校運営協議会自己評価を踏まえた今年度の課題として、子供たちの、メディアの影響によるコミュニケーション能力の低下が挙げられている。

第2回学校運営協議会は、開催時刻を早めて子供たちの授業の様子を参観していただき、熟議をする予定であることを、教頭から伝えた。

前期学校評価アンケート（児童・教職員）の結果より

１　特に評価が高かった項目

○「自分から挨拶をしている。」
（挨拶の習慣化）

○「健康で安全な生活をしている」
（健康・安全意識と学校生活）

○「ありがとう。ごめんなさい。が素直に言える」
（素直な感謝と謝罪）

○「日頃から命の大切さを感じ、自分を守るための行動を意識して生活している」
（生命尊重、防災、安全教育）

２　課題となる項目

○「わたしは、授業の内容が分かる。」　（児童 95.5%、職員 77.8%）
※児童は現状できていると思っているが、教師の目指すところまで達していない。

○「わたしは、学校生活で『できた・分かった・がんばった』と言える」
（児童 88.6%、職員 100%）
※児童が頑張っていることを自覚できていない。教師の価値づけの不足

【課題に対する２学期からの改善策】

・授業の終わりの「振り返り」の充実
子供のつまずきを次の授業での指導に生かす。
できた・頑張ったことを教師が伝える。

・課題をスモールステップで設定し、「できた」を積み上げる。
個別に合った課題に取り組ませる。
たくさんの成功体験を次の学習と意欲につなげる。

・「かかわり」を大切にした指導の充実
児童が自分の思いを進んで表現できる場を多く設定する。
児童が自分の思いを表現したくなるような課題を設定する。

Ｒ８年度 コミュニティ・スクール　Ｒ８．６月　１号

気田小コミスクだより



保護者・地域の方とともにある学校・ふるさと気田の特色を生かした教育活動をめざして

学校生活もすっかり軌道に乗り、学習の場を地域に広げて学ぶ活動が始まりました。
地域の方々は、「子供たちが、春野町をますます好きになるように。」「春野の伝統文化を学び、伝えていくことができるように。」等、願いをもって御尽力くださっています。今年度も、子供たちはこれらから得た深い学びを、自分のものにすることができると思います。



春野の産業・米作り、田植えを体験しました。（５・６年生）

天野圭介さん、天野彩乃さんが、苗の正しい植え方やコツを熱心に御指導してくださいました。





田植えは初めてでした。まっすぐ植えるのは難しかったけど、赤い印の所に植えたら上手にできました。またやってみたいです。　5年児童

苗を植えるときは、泥を集めて苗が動かないようにするということを知りました。転びそうになって、耐えての繰り返しだったけど、楽しかったです。　5年児童





苗をきれいに植えることができました。また、水路からホースをのばして、田んぼに流すところが工夫されていて、すごいなと思いました。　6年児童

お米作りは、年中大変ということが分かりました。これからお米や他の食べ物を残さず食べようと思いました。　6年児童

春野のステキを調べよう
お茶摘み体験・茶工場の見学

　栗崎園さんの御協力で、体験・見学をさせていただくことで、「春野のステキ」が自分のものになりました。





　上手にお茶を摘むことができました。お茶つみは初めてで、あまり摘めないと思ったけど、かごいっぱいになってとてもうれしかったです。　3年児童

　お茶の葉っぱを摘むときの音が気持ちよかったです。お茶つみが好きになりました。もらったお茶を家でおいしく飲みます。　3年児童







　お茶つみでは、一芯二葉で6cmの大きさのものを探すのが難しかったけどたくさん見つかりました。機械でお茶を細かくしたりもんだりして、最後は4分の1くらいの重さになることにびっくりしました。
4年児童

　お茶の工場では、葉っぱがだんだん細かくなって、お茶ができていく様子が分かりました。蒸す機械もありました。いろいろな種類のお茶も飲ませてもらって、とてもおいしかったです。
4年児童

R８年度 コミュニティ・スクール　R８．７月　２号

気田小コミスクだより



保護者・地域の方とともにある学校・ふるさと気田の特色を生かした教育活動をめざして

夏になり、春野の山々や川等、自然がますます魅力的に感じられる今日この頃となりました。また、今月も子供たちは、春野の自然を満喫するとともに、地域の方々の温かい御支援・御協力をいただき、深い学びを得ることができました。

「春野のステキ」を大調査！

３・４年生が、学習の場を広げて、かつて春野にあった学校を巡りました。子供たちの言葉から、「春野のステキ」をダイレクトに感じることができますね。



鈴木康夫さん：勝坂小にて







栗島栄市さん：田河内小にて

・勝坂小は、校舎がピンク色で素敵だなあ、と思いました。
・椅子の背もたれが、後ろの人の机になっていました。
・これからも勝坂小を守っていきたいです。

・田河内小は、コンクリートで丈夫に建てられたんだなと思いました。立派なイチョウの木もありました。
・運動会や臨海学校等の行事があったそうです。





五和分校

澤口明司さん：熊切小にて



春野ポークの皆さん：熊切小にて

・昔の熊切小は、コの字型になっていたそうです。
・先生たちもたくさんいて、泊まる所もあったそうです。
・昔の門がきれいに保存されていてかっこよかったです。

・黒板のメッセージから、思いが伝わってきました。
・今はキャンプ場として使われているそうです。私も熊切小でキャンプをしてみたいです。



笑顔と歓声でいっぱいの熊切川

全校児童が、熊切川で川遊びを楽しみました。こんなにきれいな川で、豊かな自然を満喫できるのは、春野町ならではですね。保護者・地域の皆様、 子供たちの安全を見守ってくださったり、一緒に活動してくださったりと、ありがとうございました。



川に入って、ワニみたいになって泳ぎました。流れて楽しかったです。1年児童





水鉄砲で遊んだり、浮いたりしました。おたまじゃくしが泳ぐのが速くてつかまえられなかったです。2年児童



みんなで先生に向けて水鉄砲を打ちました。先生も反撃して楽しかったです。今年の夏も春野の川で遊びたいです。

6年児童

上を向いて浮かんで、流れに乗って気持ちがよかったです。お父さんも来てくれてうれしかったです。5年児童



